

(4) でん粉原料用ばれいしょの生産費等

ア 令和3年産でん粉原料用ばれいしょの生産費(確報)

単位:円

区 分		平 均	3.0ha未満	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0ha以上		
						平 均	10.0～15.0ha	15.0ha以上
10 ア ル 当 り 生 産 費	種 苗 費	16,454	18,503	17,385	16,210	16,108	15,468	17,808
	肥 料 費	10,795	11,503	9,156	10,434	11,450	11,404	11,571
	農 業 薬 剤 費	10,745	11,793	8,148	11,477	10,358	10,246	10,657
	光 熱 動 力 費	3,885	4,061	3,991	4,231	3,445	3,540	3,193
	そ の 他 諸 材 料 費	264	737	52	215	278	329	144
	土 地 改 良 及 び 水 利 費	409	145	113	471	462	244	1,042
	賃 借 料 及 び 料 金	1,872	641	1,056	2,538	1,569	1,449	1,889
	物件税及び公課諸負担	2,303	2,271	2,123	2,508	2,125	2,202	1,920
	建 物 費	1,668	2,390	1,998	1,526	1,604	1,809	1,056
	自 動 車 費	2,924	3,663	2,904	3,193	2,492	2,502	2,464
	農 機 具 費	20,114	26,844	18,353	21,217	18,028	18,866	15,804
	生 産 管 理 費	454	389	369	522	411	426	373
	労 働 費	15,938	16,087	16,952	16,849	14,668	14,734	14,492
	うち家族労働費	15,368	15,589	16,789	16,518	13,723	14,427	11,851
	費 用 合 計	87,825	99,027	82,600	91,391	82,998	83,219	82,413
	生 産 費 (副産物価額差引)	87,825	99,027	82,600	91,391	82,998	83,219	82,413
	支 払 利 子・地 代 算 入 生 産 費	89,544	99,408	83,881	93,261	84,911	84,974	84,749
	全 算 入 生 産 費	100,304	111,798	96,029	104,356	94,657	94,795	94,297
	粗 収 益	70,296	75,487	59,997	67,765	74,546	74,603	74,395
費	所 得	△ 3,880	△ 8,332	△ 7,095	△ 8,978	3,358	4,056	1,497
	家 族 労 働 報 酬	△ 14,640	△ 20,722	△ 19,243	△ 20,073	△ 6,388	△ 5,765	△ 8,051
	1日当たり家族労働報酬	—	—	—	—	—	—	—
100kg当たり全算入生産費		2,415	2,564	2,557	2,553	2,220	2,223	2,213
10a当たり労働時間(hr)		8.65	8.98	9.24	9.03	8.03	8.07	7.98
うち家族労働時間(hr)		8.25	8.58	9.09	8.79	7.36	7.76	6.30
10a当たり生産数量(kg)		4,146	4,364	3,758	4,086	4,266	4,267	4,261
経営耕地面積(a)		4,700	6,019	2,775	4,244	5,228	4,964	6,330
うち畑面積(a)		4,689	6,019	2,775	4,222	5,212	4,964	6,249
調査作物作付面積(a)		636.2	177.7	404.8	719.1	1,284.3	1,156.9	1,815.5
(参考)1kg当たり粗収益(円)		17.0	17.3	16.0	16.6	17.5	17.5	17.5

資料:統計部「工芸農作物等の生産費」

注:収益性指標(粗収益、所得、家族労働報酬及び1日当たり家族労働報酬)については、平成19年産の「水田・畑作経営所得安定対策」の導入に伴い、農業経営全体に対して交付されるようになったことから、これまで表章していた作物に帰属する交付金等を加えた収益性指標の算出は行われていないとともに、生産条件不利補正対策に係る毎年の生産量・品質に基づく交付金は、主産物価格に含まれたので留意されたい。

イ 生産費、所得の推移

単位:円

区 分		26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年	3年
10 ア ル 当 り 生 産 費	種 苗 費	12,782	13,789	14,132	14,541	14,487	14,734	15,637	16,454
	肥 料 費	10,630	10,946	11,370	10,795	10,427	10,546	10,943	10,795
	農 業 薬 剤 費	9,742	10,135	10,801	11,353	11,259	11,266	11,023	10,745
	光 熱 動 力 費	3,819	3,027	2,609	2,955	3,577	3,476	2,961	3,885
	そ の 他 諸 材 料 費	271	253	196	299	262	157	236	264
	土 地 改 良 及 び 水 利 費	243	188	174	214	335	417	239	409
	賃 借 料 及 び 料 金	775	878	1,218	1,284	1,074	1,426	2,293	1,872
	物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担	2,033	2,100	2,169	2,124	2,149	2,272	2,209	2,303
	建 物 費	1,275	1,521	1,454	1,438	1,465	1,412	1,526	1,668
	自 動 車 費	2,013	2,114	1,929	2,368	2,279	2,482	2,528	2,924
	農 機 具 費	13,405	13,839	14,085	14,523	16,374	16,746	17,780	20,114
	生 産 管 理 費	356	398	480	549	581	560	499	454
	労 働 費	14,889	14,334	14,555	15,286	14,955	14,761	15,386	15,938
	うち 家 族 労 働 費	14,560	14,035	14,176	14,884	14,447	14,432	14,921	15,368
	費 用 合 計	72,233	73,522	75,172	77,729	79,224	80,255	83,260	87,825
	生 産 費 (副 産 物 価 額 差 引)	72,233	73,522	75,172	77,729	79,224	80,255	83,260	87,825
	支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費	74,323	75,872	77,415	80,354	81,609	82,825	85,356	89,544
	全 算 入 生 産 費	84,253	85,420	86,862	89,577	91,330	92,523	95,449	100,304
費	粗 収 益	68,119	67,272	55,852	76,961	73,076	75,195	72,321	70,296
	所 得	8,356	5,435	△ 7,387	11,491	5,914	6,802	1,886	△ 3,880
	家 族 労 働 報 酬	△ 1,574	△ 4,113	△ 16,834	2,268	△ 3,807	△ 2,896	△ 8,207	△ 14,640
1日当たり家族労働報酬		—	—	—	2,150	—	—	—	—
100kg当たり全算入生産費		1,985	2,012	2,392	2,225	2,293	2,118	2,407	2,415
10a当たり労働時間(hr)		8.81	8.45	8.56	8.80	8.47	8.07	8.34	8.65
うち家族労働時間(hr)		8.52	8.15	8.24	8.44	8.03	7.79	7.96	8.25
10a当たり生産数量(kg)		4,244	4,243	3,629	4,022	3,979	4,372	3,968	4,146
経営耕地面積(a)		3,808	3,703	3,721	3,958	4,075	4,418	4,697	4,700
うち畑面積(a)		3,806	3,699	3,710	3,948	4,057	4,411	4,689	4,689
調査作物作付面積(a)		718.4	735.7	776.8	754.6	773.3	780.6	787.8	636.2
(参考)1kg当たり粗収益		16.1	15.9	15.4	19.1	18.4	17.2	18.2	17.0

資料:統計部「工芸農作物等の生産費」

注:収益性指標(粗収益、所得、家族労働報酬及び1日当たり家族労働報酬)については、平成19年産の「水田・畑作経営所得安定対策」の導入に伴い、農業経営全体に対して交付されるようになったことから、これまで表章していた作物に帰属する交付金等を加えた収益性指標の算出は行われていないとともに、生産条件不利補正対策に係る毎年の生産量・品質に基づく交付金は、主産物価格に含まれたので留意されたい。

ウ 作業別労働時間の推移

単位：時間/10a

作業区分	年産 60	2	12	22	26	27	28	29	30	令和 元年	2	令和3年	
												実数	割合(%)
育苗	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—
耕起及び整地	0.7	0.7	0.7	0.64	0.72	0.66	0.69	0.75	0.67	0.62	0.62	0.63	7.3
基肥	0.4	0.5	0.3	0.35	0.31	0.30	0.31	0.30	0.29	0.27	0.31	0.31	3.6
は種	3.2	3.3	2.4	1.97	1.97	1.82	1.97	1.86	1.83	1.61	1.82	1.83	21.2
中耕除草	0.8	0.7	0.6	0.65	0.66	0.60	0.54	0.52	0.52	0.47	0.48	0.53	6.1
培土	0.2	0.2	0.1	0.25	0.27	0.23	0.29	0.33	0.31	0.27	0.31	0.30	3.5
追肥	0.0	—	0.0	0.03	0.09	0.08	0.11	0.11	0.11	0.12	0.11	0.11	1.3
防除	1.0	1.1	0.9	0.99	0.96	0.96	0.94	1.03	0.98	0.89	0.89	0.97	11.2
収穫・調製	4.5	4.3	2.9	2.80	3.07	3.08	3.00	3.16	3.13	3.26	3.05	3.25	37.6
生産管理	—	—	0.4	0.24	0.27	0.27	0.27	0.27	0.26	0.23	0.21	0.27	3.1
その他管理	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
直接労働時間	—	—	8.3	7.92	8.31	8.00	8.12	8.33	8.10	7.74	7.80	8.20	94.8
間接労働時間	—	—	0.4	0.41	0.50	0.45	0.44	0.47	0.37	0.33	0.54	0.45	5.2
労働時間計	10.9	10.9	8.7	8.33	8.81	8.45	8.56	8.80	8.47	8.07	8.34	8.65	100.0
うち家族	10.0	10.4	8.0	7.94	8.48	8.15	8.24	8.44	8.03	7.79	7.96	7.80	90.2

資料：統計部「工芸農作物等の生産費」

エ でん粉原料用ばれいしょの生産費の主な増減要因

(単位：円/10 a、%)

年産	全算入生産費		主な増減要因
		増減率	
1 8	71,322	0.8	10 a 当たり全算入生産費は7万1,322円で、前年に比べ0.8%増加。これは、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したことなどによる。
1 9	71,393	0.1	10 a 当たり全算入生産費は7万1,393円で、前年に比べ0.1%増加。これは、修繕費用等の減少に伴い農機具費は減少したものの、原油価格の上昇に伴い肥料費及び光熱動力費が増加したことなどによる。
2 0	77,030	7.9	1 10 a 当たり全算入生産費は7万7,030円で、前年に比べ7.9%増加。これは、労働費は前年並みであったものの、物財費が増加したことによる。 2 物財費は、原油価格の上昇に伴い肥料費及び光熱動力費が増加したことなどにより、前年に比べ12.6%増加。
2 1	81,902	6.3	1 10 a 当たり全算入生産費は8万1,902円で、前年に比べ6.3%増加。これは、物財費が増加したことによる。 2 物財費は、価格の上昇により肥料費が増加したこと等により、前年に比べ8.1%増加。 3 労働費は、天候不順によりは種労働時間及び収穫労働時間が増加したことから、前年に比べ7.0%増加。
2 2	79,285	△3.2	1 10 a 当たり全算入生産費は7万9,285円で、前年に比べ3.2%減少。これは、肥料価格の低下等に伴い物財費が減少したこと等による。 2 物財費は、肥料費が減少したこと等により前年に比べ3.6%減少。 3 労働費は、ほ場状態が良かったことから、は種時間が減少したことや、収量の減少により収穫時間が減少したことから前年に比べ2.8%減少。
2 3	80,725	6.7	1 10 a 当たり全算入生産費は8万0,725円で、前年に比べ1.8%増加。これは、燃油価格の上昇に伴い、光熱動力費が増加したこと等による。 2 物財費は、光熱動力費が増加したこと等により前年に比べ1.8%増加。 3 労働費は、収量の増加に伴う収穫労働時間が増加したこと等により、前年に比べ3.4%増加。

年産	全算入生産費		主な増減要因
		増減率	
2 4	83,824	3.8	1 10a 当たり全算入生産費は8万3,824円で、前年に比べ3.8%増加。これは、病害虫の防除により農業薬剤費が増加したこと等による。 2 物財費は、農業薬剤費が増加したこと等により前年に比べ5.1%増加。 3 労働費は、収量の増加に伴う収穫労働時間が増加したこと等により、前年に比べ2.6%増加。
2 5	82,844	△1.1	1 10a 当たり全算入生産費は8万2,844円で、前年に比べ1.1%減少。これは、肥料価格の低下及び肥料投入量の減少に伴い、肥料費が減少したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,033円で、前年産に比べ0.7%増加。
2 6	84,253	1.7	1 10a 当たり全算入生産費は8万4,253円で、前年に比べ1.7%増加。これは、農業薬剤価格の上昇により、農業薬剤費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は1,985円で、前年産に比べ2.4%減少。これは、10a 当たり収量が増加したことによる。
2 7	85,420	1.4	1 10a 当たり全算入生産費は8万5,420円で、前年に比べ1.4%増加。これは、燃油価格の低下により、光熱動力費が減少したものの、購入種いもの価格の上昇及び数量の増加により、種苗費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,012円で、前年産に比べ1.4%増加。
2 8	86,862	1.7	1 10a 当たり全算入生産費は8万6,862円で、前年に比べ1.7%増加。これは、天候不順による病害防除に伴う殺菌剤の増加により、農業薬剤費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,392円で、前年産に比べ18.9%増加。これは、10a 当たり収量が減少したこと等による。
2 9	89,577	3.1	1 10a 当たり全算入生産費は8万9,577円で、前年に比べ3.1%増加。これは、10a 当たり収量の増加に伴う収穫労働時間の増加により、労働費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,225円で、前年産に比べ7.0%減少。これは、10a 当たり収量が増加したこと等による。

年産	全算入生産費		主な増減要因
		増減率	
30	91,330	2.0	1 10a 当たり全算入生産費は9万1,330円で、前年に比べ2.0%増加。これは、農業機械の修繕の増加に伴い、農機具費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,293円で、前年産に比べ3.1%増加。これは、10a 当たり収量が減少したこと等による。
令和 元	92,523	1.3	1 10a 当たり全算入生産費は9万2,523円で、前年に比べ1.3%増加。これは、農業機械の修繕の増加に伴い、農機具費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,118円で、前年産に比べ7.6%減少。これは、10a 当たり収量が増加したこと等による。
2	95,449	3.2	1 10a 当たり全算入生産費は9万5,449円で、前年に比べ3.2%増加。これは、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の導入に伴い、種苗費が増加したこと等による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,407円で、前年産に比べ13.6%増加。これは、10a 当たり収量が減少したこと等による。
3	100,304	5.1	1 令和3年産原料用ばれいしょの10a 当たり全算入生産費は10万304円で、前年産に比べ5.1%増加。これは種苗費及び農機具費の上昇による。 2 100kg 当たり全算入生産費は2,415円で、前年産に比べ0.3%増加した。

資料：統計部「工芸農作物等の生産費」